

## 今後の教育活動について

保護者の皆様

2020年7月29日  
勤医協札幌看護専門学校  
校長 中佐藤 利一

保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

また、勤医協中央病院での新型コロナウイルス感染症の集団発生については、皆様には大変なご心配をおかけしましたが、6月23日をもって安全が確認され、現在は通常の診療体制に戻ることができました。

本校におきましては、4月の始業直後から5月末まで臨時休業とし、その間も課題学習、遠隔授業の準備を進めました。6月1日の学校再開後も、三密を避けるための時差登校、分散登校と遠隔授業を並行して進めてきました。

学生の皆さんは、密集予防や感染予防対策等、これまでに経験のない学校生活を送らざるを得なくなっておりますが、生き生きと学習に取り組む学生の皆さんとともに、今後も安全に学べる学習環境の整備と、教育学習活動に取り組んでいきたいと考えております。

今後とも、保護者の皆さまには、学生の日常生活における健康管理、感染予防行動にご協力いただきますように、お願い申し上げます。

全国的な新型コロナウイルス感染症により臨地（実習病院）での実習が困難となっております。臨地実習は、看護職に必要な臨床実践力を習得するために欠かせない学習ですが、今年度は、多くの学校が学校内での実習を行っております。

本校もこれまでの2・3年生のすべての実習を学校内で行ってまいりましたが、9月より勤医協中央病院、勤医協札幌病院、勤医協札幌西区病院においての臨地実習の再開に向けて準備を開始しております。

2年生は9月7日からの成人看護学実習Ⅱと来年1月の老年看護学実習Ⅰ、3年生は10月19日からの老年看護学実習Ⅱ、1年生は12月7日から基礎実習Ⅱを予定しております（1年生の基礎実習Ⅱは当初来年2月を予定しておりましたが、繰り上げて実施します）。

臨地実習に当たっては、厚生労働省からの指導もあり、臨地に滞在する時間をなるべく短くするなど実習内容を見直すとともに、マスク、フェイスシールドなど感染防護用具の適切な使用により、学生の感染予防対策を取ります。

また、実習に当たっては、学生が感染源とならないよう、健康状態と感染リスクを回避する生活管理が求められます。そこで、実習前4週間はアルバイト、旅行、ボランティア活動など、不特定多数とかわる行動、感染リスクが高いとされる行動の自粛をお願いいたします。

学生の皆さんには「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン Ver5 臨床実習版」も発行し日常生活の健康管理、感染対策を指導しております。（同封いたしますのでご一読ください）

保護者の皆さまにおかれましては、ご理解ご協力のほど、よろしくようお願い申し上げます。